

地域医療の安定と交通弱者の利便性を考えて

秋葉 好美 議員

問 健康増進について

答 胃がんリスク検診の実施については、対象集団の死亡率減少を目的としたバリウム検診、又個人の死亡リスクを引き下げるペプシノゲン検査及びピロリ菌検査があります。本市では国が推奨するバリウム検査を実施しております。胃がんリスク検診については、実施に至っておりません。

問 ジェネリック医薬品の利用状況について伺います。

答 平成26年5月にジェネリック医薬品に切りかえた場合の自己負担額差額通知を国保被保険者1,899名に対して送付したところ、新たにジェネリック医薬品に変更された方は6月で288名、7月で236名、8月で263名でした。送付した方のうち14%の方が3カ月で変更されました。医療費削減の効果額は3カ月の合計で約176万円の削減になります。

問 大網病院長の医師確保と病院経営の施策について伺います。

答 病院経営安定化にとって最重要事項は、医師確保であります。これについては、最大限努力をしているところであります。又、東千葉メディカルセンターとの連携を視野に入れた中で、地域包括ケア病床を平成26年11月から20床稼働したところで、地域包括ケア病床は、全国的に入院基本料算定における看護配置基準を厳格化し、急性期患者の病床を絞るといった国の方針により、急性期を過ぎて在宅復帰を目指しリハビリなどを行うなど、病状の落ち着いた患者さんを治療する病床になります。

問 大網病院の特色について伺います。



健康診断を受診しよう

答 当院の特色であります血液内科は、多発性骨髄腫などの造血器腫瘍及び骨髄異形成症候群、再生不良性貧血などを中心に、紹介を受けた血液内科は、東千葉メディカルセンターにおいて将来的にも設置予定がございますので、当院の特色として、今後置きたいと考えているところです。

問 金坂市長はご自分の選挙の直前に、選挙費用の公費負担制度をつくりました。ポスターやチラシの印刷費用と宣伝カーの費用を税金で出すことになりました。この公費負担制度には、県や国からの補助金はありますか。全て市の税金からの持ち出しです。

答 本市の選挙公費負担の最大額は、幾らになりますか。

問 ポスター印刷代やガソリン代の公費負担は不正請求の温床となっております。例えば八街市では、ポスターの印刷費用を業者が市に請求しますが、多額の不正請求をして、選挙後に各議員にキックバックをしていますが、八街市の例では10万円ずつキックバックがあったそうです。ガソリン代の水増し請求も全国で相次ぎ、市民オンブズマンの指摘を受けた多くの議員が返還しています。本市において、公費負担不正請求防止のための確認方法はどのようになっていますか。

問 市長の退職金は幾らですか。

問 議員に代わって、退職金はありますか。議員年金も廃止されました。何らかの公費負担があってもいいという議論は議会の判断に任せますが、一方で多額の退職金のある現職市長が選挙費用を公費負担を、しかも百パーセント持ち出しの税金を使ってすることに非について、是非について考えを聞かせてください。

問 今後の利用の認知度について

答 新路線バスの利用者を増やし、可能であれば運行の拡大を目指すことも考えております。

退職金を一千万円もらえる現職市長の選挙費用を、市民の税金から出すのはおかしい！

黒須 俊隆 議員

選挙運動に関わる公費負担（市長選挙）

項目	種類	1日あたり	合計
宣伝カー 借り上げ費	ハイヤー	64,500円	451,500円
	レンタカー	35,150円	246,050円
ポスター など印刷代			372,325円

市長 選挙費用の公費負担については、経費の一部を公費で負担することにより、立候補者の経済的な負担を軽減し、立候補の機会均等を図るということを目的として定めています。本制度については、市議会においても公費負担に関する条例の議決を経ており、法令及び条例の規定に基づいて執行すべきものだというふうに考えています。

問 たった4年間務めただけで一千万円もの退職金を得る現職市長が、さらに最大で82万円もの選挙費用の公費負担を受けるというのは、住民感情としておかしい話ではないですか。公費負担で選挙費用を捻出するのは、お互いやめませんか？

市長 通告をいただいております。質問なので、この場では差し控えます。市議会に代わって、是非について市長に通告してあります。

市長 議会においても議決をいただいておりますので、法令及び条例の規定に基づき執行すべきものと考えております。

「子どもや高齢者は市の宝」弱者に優しい市政を！

石渡 登志男 議員

「市民の声をしっかりと受け止め、それを市政に反映していく。」それが当たり前のことではないか。そこから物事はすべてスタートしていく。こういったことを大事にしていきたいから、残りの任期あと1年、全力を持って市民一人ひとりの幸せの為に走り続けていきたいと思う。

津波避難訓練、これはただだけない。23年度の参加者が1,445人、26年度が434人、深刻なる状況だ。ではどうしたらよいか。先ず、地震体験車を県から借用したり、そして津波体験者の「語り部」による講演等、そういった事も考えてみたかどうか。

防災訓練時に地震体験車が借用できるように、また津波体験者の講演につきましても津波避難訓練時に実施できるように努めてまいります。津波時においては南今泉だけではなく四木や北今泉においても住民が避難できる施設を設置すべきだ。ご提案のあった四木地区、北今泉、両地区を含めて海岸地域全体の津波の緊急避難場所の整備計画を現在作成しております。

避難路の外灯設置、これ3回目の質問だが、検討を加えていただけたかと思う、その点はどうなのか。

ご提案をいただいている外灯ですが、蓄電池内蔵型の外灯設置を検討しています。津波避難路を指定の上、優先的に停電時の津波避難対策を講じてまいります。

市の後援規定はどうなのか。基準としては、営利目的、政治的目的、宗教的目的を有するものは後援等を認めていません。

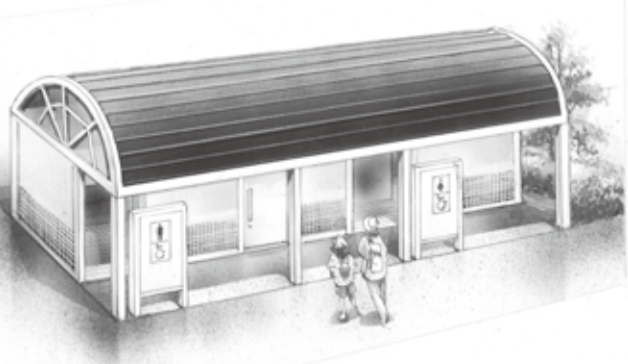
同僚議員から連絡が入った。開催前だったので、その企業に「問題があります。」とお伝えした。どの企業でも市に対してごり押しは一切認められない。大網白里市は民間企業金の儲けの為にあるのではない。市政は市民の為にあるのだ。もちろんイベントにおいては市民の皆様方が楽しめることなので、何ら問題は無い。この件はどうなっているのか。

開催の一週間前に「後援：大網白里市」と記載されたチラシが配布されたことについて。今後、このようなことが二度と繰り返されることのないように書面の提出を求めたところ、確約書の提出がありました。

駅前公衆トイレも新しくなる、やがて駅前歩道の屋根の設置もできる。これで駅前広場もやっとな変わってくる。ならばもう一歩進めていくのではないかと。よりよい駅前づくりを市民と一緒に築き上げ、考えていくのではないかと。

駅前交通量の調整機能がある県道バイパスや駅南地域の市街地整備の検討など関連する事業の進捗状況を見ながら、引き続き広場の利便向上を図るための対策を検討していきます。

その他大網病院についても質問した。



大網駅前トイレの完成イメージ図